

つなぐ



諫早市立大草小学校
特別支援教育
コーディネーターだより
H30.11.15 No.24
文責 林田

☺ 11月のSSTは… ☺

11月のSSTは「上手な断り方」について学びました。例えば、「昼休みに遊ぼう。」と友達に誘われた時、「委員会の仕事などの用事が入っていて遊べない。」こともあります。そのような時、どんな断り方をすれば、相手が気持ちよく納得してくれるかを3つのモデルを見ながら考え、学びました。今回は4年生と6年生に手伝ってもらいました。(誘う役の子は、相手が何と言って断るか事前にはわかっていません。)

モデル①は、「誘われても何も返事をしない。」という場面です。実際に誘う役をした子に感想を聞くと、

「返事がないと悲しい。」

という反応でした。周りで見ていた子たちも、ロクに、

「遊べるかどうかわからないから困る。」「腹が立つ。」

などとつぶやいていました。

モデル②は、「だめ。無理。」と断る場面です。

この場面でも、誘う役の子は、

「なぜだめなのか理由が分からないので、不満。」

『なんで遊べないの?』とすっきりしない。」

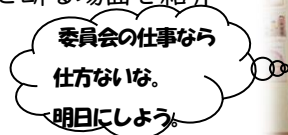
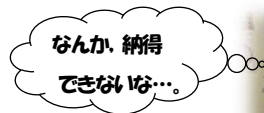
という気持ちを述べてくれました。「遊べない」ことはわかっていても、理由がわからないと…と他の子たちも同様な考えをもちました。

モデル③は、「委員会の仕事があるから遊べない。」と断る場面を紹介しました。この時は、

「理由が分かったから、また明日遊ぼうと思った。」

と納得した様子でした。

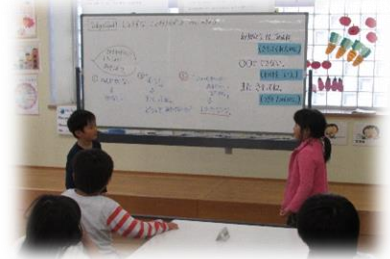
3つのモデルの中でどれがいいか挙手をさせると、全員③を選びましたので、最後に「上手な断り方」のまとめをし、練習しました。



ありがとう。(ごめんね)
(さる(くれたのに))
〇〇でできない。
(わけをいう。)
また さるね。
(うさ(のみに。))



上手に断れるかな？(目の前の人と断り方の練習中)



1年生も上手にできました。

「できない。」ということを上手に伝えることも、円滑な人間関係を築くのに大切な力です。生活の中で生かせるように見守っていきます。

☺ 子どもたちの学び合い ☺

昨日は諫早市音楽会が開かれ、大草小の2～6年生も太鼓の演奏で出演しました。2学期に入り、転出入の関係でメンバーの変更があったため、パートを替わった子や初めて太鼓をたたく子が出てきました。「音楽会までに、間に合うか?」と心配していましたが、教師の指導以上に、周囲の同じパートの子の手助けのおかげで、本番では素晴らしい演奏を披露することができました。「子どもは子どもの中で育つ」子どもたちの力って本当にすごい!と感じました。

